

## 令和2年度第1学期始業式 式辞

令和2年6月1日 平山公治

みなさん、おはようございます。校長の平山です。お久しぶりです。元気に過ごしていたでしょうか。さる3月4日に休校となって以来、約3ヶ月ぶりに本格的に学校が始まります。

この間、皆さんは郵送された課題に取り組んだことと思います。1人でトレーニングに励んだ人も多かったことでしょう。また、防災無線に出演してくれた人もいました。ありがとうございました。

さて、新年度の本格的なスタートにあたり、皆さんにお伝えしたいことが3つあります。できるだけ簡潔にお話するので、よく聞いてください。

1つ目です。

新型コロナウイルスの蔓延という、予想しなかった事態を目の前にして、私たちは、うろたえたり、まごついたり、恐れたり、悩んだり、迷ったりしました。そして、不都合な状況を目の前にして、ついつい、人のせいにしてしまう、ということが少なからずありました。あの人がやって置いてくれればよかったのに、とか、あの行政機関からの指示が遅いから我々は困っているのだ、とか、このような不平不満が渦巻いていました。その結果、ウイルスの蔓延を防止する、という一番大切な事柄よりも、それ以外の、問題の中心からはズレていることがらについて、無駄に気を揉んだり、イライラしたりすることが多かったように思います。

しかし、全世界的な、とても大きな災難を目の前にして、現場の対応がテキパキ進まないことを、人のせいにしても何も始まらない。誰かが道案内をしてくれるだろう。誰が手を差し伸べてくれるだろう。そんなことはないのです。自分でやらなければならないのです。

現実を自分の目でしっかり見て、自分で解決までの道筋を考えて、自分の頭や身体を使って、前進するしかないのです。

我々教職員も、誰かがやってくれたり、誰かが指示を出すのを待ったりせずに、自分自身で知恵を絞って、手間を掛けて、この厳しい状況を乗り切るしかない。皆さんも、この困難な状況を自分自身の課題だと捉えて、自分で考え、自分で行動してください。

なお、北九州では学校内でクラスターが発生した、というニュースも流れていました。千葉県や多古町近辺では、ひとまず下火になったとはいえ、まだまだ油断はできません。どんな場面でも、いわゆる3つの密にならないように、慎重に、そして冷静に行動してください。

2つめです。

授業が実施できてない状態が続いています。この先も、すぐには正常な状態には戻りません。学習内容については、郵送した課題だけでは不十分な部分もあります。そこで千葉県では、7月31日までを1学期としました。しかし、それだけでは足りないところもあります。今後、2学期の開始が早まったり、土曜日に授業を実施したりする可能性もありますので、御承知おきください。

私たちも、法令で決められた授業数がキチンと実施できるよう、よく考え、よく工夫して対応していきます。特に3年生の進路活動については、コロナウイルス感染の影響がでないように、できるだけの出立てを講じていきます。3年生の皆さん、心配しないで、自分の進

むべき道筋をしっかりと見据えて、じっくり取り組んでください。

3つ目です。

皆さん御存知のとおり、今年度の新入生の数が大幅に減少しました。3クラスで定員120人のところ、79人しか入学しません。これは大変なことです。来年の高校入試では、なんとかしてでも定員が埋まるようにしなければなりません。

私たち教職員も、定員が確保できるようにできる限りのことをしますが、どうか生徒の皆さんにも協力していただきたい。

例えば、ホームページで本校の出来事を紹介したり、パンフレットを作って中学校に配ったり、体験入学を実施したり、生徒募集のために色々なことをやるのですが、一番効果があるのは、皆さんが元気に学校に通い、全力で勉強や部活動に取り組んでいる姿を示すことです。

その姿を、中学生やその保護者の方、中学校の先生たちが直接目にしたり、あるいは噂で聞いたりすることによって、本校を志願する生徒も増えるものと思います。皆さんには、昨年度にも増して、高校生活に一所懸命に取り組んでもらえることを強く強く望みます。

生徒募集に関しては、早速皆さんにお願いすることもあります。担任の先生経由で連絡しますので、よろしくお願ひします。

以上で始業式のお話を終わりにします。